(%)

調

查

夕

アイディディ・ソフトウェア

第3種郵便物認可

ディ・トラベルワーカー」ウェア提供の「アイディ 初期費用と月額保守料が は、中小旅行会社向けの も採用されている。 ればどこからでも操作で 料のみで使えるほか、イ ンターネット環境さえあ ベンション協会も20長崎県の佐世保観光コ アイディディ・ソフト グーグルのクラウド -ビスを利用するため 年からトラベルワ 0社以上。 導入実績は全国で 月額のアカウント ル業務支援システ 観光協会などに

観光協会などでも採用進む

ーを選んだ。「操作性の中からトラベルワー ボリュー シンプルで使い勝手が 不安を抱えていた。 ムの導入を検討し、 を手作業で行っていた」配、精算業務などすべ いくとともに、 いくとともに、作業の、実施数が積み重なっ の寺岡香奈枝氏。 ムが増え管理に 旅行業システ

ップページトラベルワ

ーカーの・

業の短縮に成功。 や予約が完了するため作 が入ると同時に顧客情報 のシステムを活用。 「WEB上と合わせて在業の短縮に成功。また 画旅行システム」も導入 現地発のツアー

リテ ル業務支援システ

開始した当初は、Excを行っている。旅行業を 世保エリアの観光資源を 旅行業免許を取得し、佐 などの企画、

を使って顧客管理や

ラクターグッズなどの物 る」と評価する。 「コストが安価な上、

ている。 では「集計機能」を活用 し業務の簡素化につなげ 協会のHPリニューア

賃継で苦労していた。今業で行っていたが作業が の照合などは毎日、 ルに際し、 「WEB連動 オプションの

報システム

JRグル

ープの鉄道情 (JRシステ

ラ

館・ホテルや旅行会社などにかに革新を図るか。それは旅デジタル技術を活用してい

とっても大きなテーマだ。 回の観光業界向け新商品特集

ンステムを紹介する。

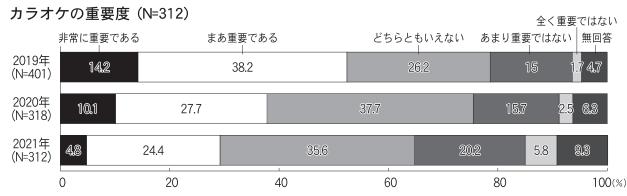
「観光DX」に貢献する

理。以前は売り上げ金額もトラベルワーカーで管販も手掛けているがこれ サ 1 口

旅館・ホテル市場での カラオケ重要度は低了

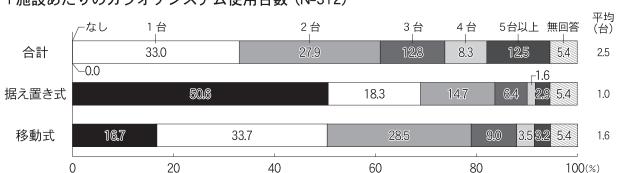
全国カラオケ事業者協会

全国カラオケ事業者協会は、2021年度(21年4月1日~22年3月31日)の市場ア ンケートの結果をまとめた「カラオケ白書2022」を7月に発行した。旅館・ホテル 市場では、客へのサービスとしてカラオケの重要度について29.2%が「重要」と回 答。コロナ禍前の19年度は52.4%、20年度は37.8%で、コロナ禍が長引く中、宴会 需要の低下とともにカラオケの重要度は低下傾向にある。



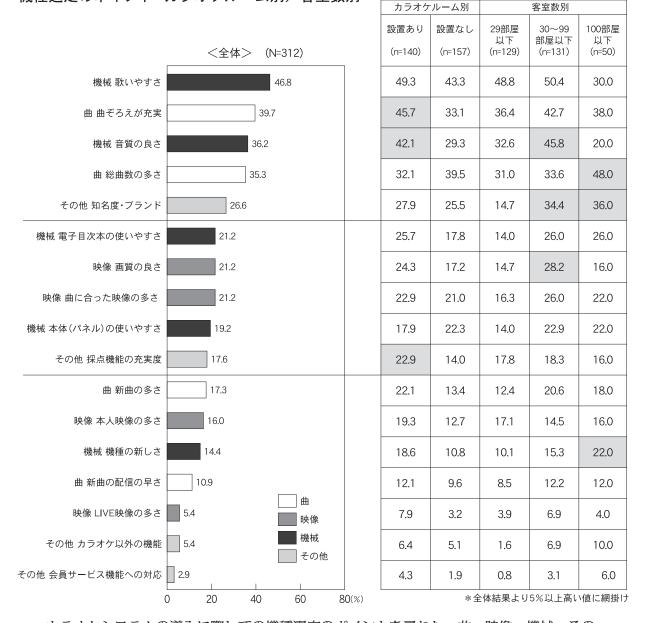
客へのサービスとしてカラオケの重要度を問うと、「非常に重要である」が4.8%、 「まあ重要である」が24.4%で、合計すると29.2%となっている。

1 施設あたりのカラオケシステム使用台数 (N=312)



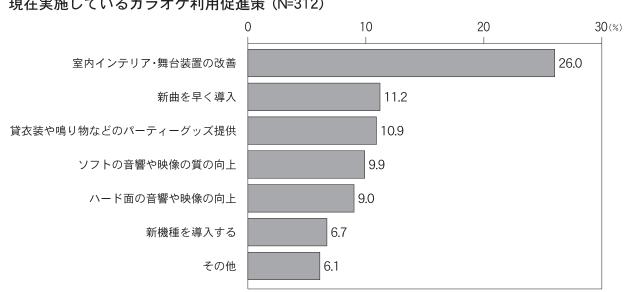
調査対象(3416件)の旅館・ホテルが導入しているカラオケシステムの数は平均で、 据え置き式が1.0台、移動式が1.6台で、合計では2.5台となった。

機種選定のポイント カラオケルーム別/客室数別



カラオケシステムの導入に際しての機種選定のポイントを尋ねた。曲、映像、機械、その 他の4ジャンルに分けて選択肢を提示し複数回答を求めた。最も多いのは「歌いやすさ」46. 8%で、次いで「曲ぞろえが充実」39.7%、「音質の良さ」36.2%、「総曲数の多さ」35.3 %と続く。カラオケルームの設置あり施設では「曲ぞろえが充実」と「音質の良さ」「採点 機能の充実度」が全体に比べて高い。客室別では100部屋以上の大規模施設で「総曲数の多 さ」「知名度・ブランド」「機種の新しさ」が全体に比べて高くなっている。

現在実施しているカラオケ利用促進策(N=312)



カラオケの利用促進策として現在行っている方策は、「室内インテリア・舞台装置の 改善」が26.0%と最も多く、「新曲を早く導入」11.2%、「貸衣装や鳴り物などのパー ティーグッズ提供」10.9%、「ソフトの音響や映像の質の向上」9.9%が続く。

鉄道情報システム



の8月には、複数の充実を図っておりこ

ている。 大手チェーン

あり、予約を にその担当が また

況を確認してい 検索できるた

トセンター

ォーマンスに優れて定料金でコストパフ 向けのエージェントー
は、宿泊施設 が提供する「らく通 おり、 料金を一元管理でき ラー。シンプルで使 好評。安価な月額固 いやすい操作画面が るサイトコント (旅行会社、 ト)の予約、在庫、 宿泊施設 本部機能をリリース

にあると は運営 料金情 た本はに、本機に より、 アラ

が可能であり、特徴いつでもどこでも めて確認できる点 施設の予約、在庫 までを一つの画面 それまでは本部 各施設のらく通

がしやすくなった。 つでもつながりやす

ートセンターの営業時間望が多かったらく通サポ しい」とJRシステム。窓口まで問い合わせてほ 時までだったが平日の営 を延長した。これまでは らの勤務の人も問い合わした。これにより夕方か 毎日午前9時から午後6 時間を午後9時までと 四社では7月から、

旅行会社・予約サイトを一元 JRシステムのブラウザ版予約サイトコントロー ブラウザでいつでもどこでも利用可能 低廉な月額固定料金 PMS自動データ連携 365日充実のサポート体制

施設様のご利用状況に合った製品ラインナップをご用意しております。



旅行会社と予約サイトを らくらく一元管理 19,800円/月~



旅行会社の予約・在庫を らくらく管理 10,000円/月~



予約サイトの予約・在庫 料金をらくらく管理

▶お問い合わせは 鉄道情報システム株式会社 〒151-8534 東京都渋谷区代々木 2-2-2 ☎ 042-573-6420 (らく通販売窓口: 平日10:00~17:00) 〒 info@raku-2.jp までどうぞ。

鉄道情報システム株式会社

詳しくは→ http://www.raku-2.jp/